

達参会ニュース

2024年（令和6年）第27号 武石地域版

発行人 達参会（齊藤達也後援会） 長野県上田市中央2-20-12 討議資料
TEL&FAX 0268-75-0175 E-mail: t.saito.koenkai@gmail.com



武石地域の皆さまへ

上田市中央選出（海野町自治会出身、材木町自治会在住）、上田市議会議員2期目の齊藤達也と申します。この度、武石地域の皆さまに市政に関するご意見を伺いたく、政治活動報告「達参会ニュース」をお配りしております。達参会とは後援会の名称で、「**達也と共に市政に参加する会**」という意味であり、その根本には市民の皆さまに**市政を自分事として考えていただきたい**という願いが込められています。

岳の湯温泉雲溪荘について

市議1期目の2018年から産業水道委員会に所属しており、2022年4月からの2年間は委員長を務めさせていただきました。所管事項の中で**大きな課題の1つが年間3,500～4,000万円の指定管理料（≒実質的な赤字）で運営されている雲溪荘の存続/廃止等、公共施設経営のあり方の議論**でした。



2022年12月議会では、委員会で熟議を尽くし、雲溪荘の指定管理期間を3年とする議案を否決する判断に至りました。その後は、**武石地域協議会内に設置された温泉施設在り方検討部会**でご協議いただき、令和7年度以降は宿泊を中止し、民間事業者等による利活用の可能性を模索するなど、将来的な財政負担も考慮しながら検討していくことになっています。

なぜいま公共施設の経営改善が必要なのか

雲溪荘について、段階的に運営形態を縮小していくことは、意見書をまとめられた武石地域の皆さまにとっても非常に心苦しいご判断であったことと推察いたします。

しかし、**上田市の財政状況は非常に厳しく、基金を取り崩しながら予算をやりくりしている現状です。**年間70億円超と試算される公共施設の更新・改修費は財政がひっ迫する要因の1つとなっており、上田市内に400近くある**公共施設の経営改善**をしていくことで、**教育や医療・福祉など、未来への投資や、人が生きていく上で欠かせない行政サービスに予算を振り向けることが可能になります。**



私は1期目は大学院で、2期目は民間のスクールで公共施設マネジメントや公民連携（PPP、民間の力を市政に生かすこと）という手法と実践を学び、雲溪荘などの**経営が厳しい公共施設の経営改善に向けた提案を行ってきました**（写真は岡山県津山市で赤字のプール施設が総合スポーツ施設として再生した先進事例です）。

武石地域にお住まいの皆さまご自身が、自分たちのまちの未来をどのようにお考えなのかを、ぜひお聞かせください。よろしくお願いたします。

プロフィール

○毎週市内各地で、時には仲間と共に、「上田好きののぼり旗を掲げ、笑顔で朝の挨拶を行っています。



1975年10月14日生まれ、てんびん座、O型
妻と長女、黒豆柴と暮らしています

- 1982年 聖ミカエル保育園卒園
- 1988年 上田市立清明小学校卒業
- 1991年 上田市立第二中学校卒業
- 1994年 長野県立上田高等学校卒業
- 1999年 東京理科大学卒業
- 1999年 豊田通商株式会社入社
- 2004年 中国上海華東師範大学1年語学留学
- 2007年 新日本製鐵(株)名古屋製鉄所2年出向
- 2012年 上田にUターン、株式会社ウズケヤ入社
- 2015年 信州大学地域戦略プロゼミ修了
- 2017年～上田市消防団第三分団

○2023年の長野県消防ポンプ操法上小大会では1番員を務め、分団初の準優勝に貢献しました。



2018年～海野町商店街振興組合理事

○上田高校や信州大学等の学生からなる「うえわちゃ」の皆さんと連携し、イベント開催支援や清掃活動等を行っています。



2018年～上田市議会議員、上田ロータリークラブ

2018年～パリテ・カフェ@信州実行委員

2020年～上田地域広域連合議会議員

○広域連合議会では救急医療に関する市民の皆さんの不安や2次救急医療を担っている先生方の声を届け、2023年に地域医療対策課が設置されました。

2021年 東洋大学大学院公民連携専攻修了

2021年～北部地区まちづくり協議会

2022年～上田市議会/産業水道委員長

○産業水道委員長として、公共施設の経営改善（公民連携）のほか、市内中小企業の経営者への支援の提案、将来世代にも影響が大きい水道広域化に関する勉強会・懇談会を重ねてきました。

2023年 都市経営プロフェッショナルスクール修了

上田市PTA連合会常任委員

2024年 上田市立東小学校PTA会長

なぜ「上田大好き」を掲げているのか？

私は自分自身がそうであったように、上田のことが大好きな子どもたちが育つまち、そして大人が誇りを持てる上田にしたいです。そして上田のことを自分事として考え、行動できる人が増えれば、もっといいまちになるとは思いませんか？

ビジョンについて

「自分たちのまちは自分たちが創る」



上田の実力はこんなレベルではない、ポテンシャルはまだまだ高いと信じていますが、その実力が発揮されていないのが現状です。上田市には、教育、医療、福祉、産業、文化・芸術、スポーツ、エネルギー、まちづくり等々、様々な分野で活躍している民間の方々があります。また、市役所にも上田市を本気で良くしたいという想いのある職員さんがたくさんいますが、残念ながら、組織としての行政と民間の連携が進んでいません。

まちづくりを行政だけに任せるのではなく、また、市政はよりオープンにして、まちの未来を本気で考える皆さんと共に創る上田を目指します。

日頃の活動はこちらから



上田市議会議員齊藤達也公式HP

note

noteブログ（2023年～）

齊藤達也@上田市議会議員



アメブロ（2017年～2022年）

上田大好き 齊藤達也



齊藤達也



@ueda_daisuki



@ueda_daisuki

毎日更新！スペースでラジオ配信も 📻



上田大好き 齊藤達也

上田グルメを紹介する市議メシ！